第9講　【中世編】東アジア世界の変容とモンゴル

PART4 モンゴル帝国と元の中国支配

Chapter 1　モンゴル帝国の成立とユーラシア制覇

目標
チンギス＝ハンが遠征した地域や国を確認しよう。
モンゴル人がユーラシア大陸西方に建てた国家について知ろう。

1　モンゴル帝国成立とチンギス=ハンの遠征

①モンゴル帝国の成立

1206年　モンゴル民族の**テムジン**がモンゴル高原の諸部族を統一。〔　　　　　　　　〕（部族会議）でハンに選ばれ，〔　　　　　　　　　　　　〕として即位。〔　　　　　　　　　　〕（**モンゴル帝国**）を建てる

②チンギス＝ハンの統治

支配下の遊牧民を〔　　　　　　〕で組織

※遊牧民を95の千戸（1000人隊）に編成し，さらに各千戸を百戸，十戸に分ける軍事・行政制度。

③チンギス＝ハンの遠征

1218年　**西遼**（**カラキタイ**）を倒したトルコ系遊牧民**ナイマン**を滅ぼす

1220年　トルコ系イスラーム王朝〔　　　　　　　　　　　　　　〕を攻撃，滅亡に追いやる

1227年　タングートが建てた〔　　　　〕を滅ぼす

チンギス＝ハンの次男**チャガタイ**が，中央アジアに〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を建てる

2　モンゴルの拡大とユーラシア征服

チンギス＝ハンの死後は子や孫が遠征を続け，13世紀後半までに征服地にモンゴル人の国（ハン国）を建てた。モンゴル帝国は，ユーラシア大陸の過半を支配する大帝国になった。

①オゴタイ＝ハンの時代

1229年　チンギス＝ハンの三男〔　　　　　　　　〕が第２代大ハン（皇帝）に即位

1234 年　**金**を滅ぼして華北を支配下に入れる

1235 年　〔　　　　　　　　　〕を都とする

1241 年　チンギス＝ハンの孫〔　　　　　　〕がヨーロッパまで遠征。

〔　　　　　　　　　　　　　　　〕（リーグニッツ）の戦いで，ポーランド・神聖ローマ帝国の連合軍を破る

1243 年　バトゥが**キエフ公国**を制圧。南ロシア平原に

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を建てる

1246 年　オゴタイの子**グユク＝ハン**が第 3 代大ハンに即位

②モンケ＝ハンの時代

1251 年　チンギス＝ハンの孫〔　　　　　　　　　　　　〕が第 4 代大ハンに即位

1253 年　弟の〔　　　　　　　　〕が雲南地方の**大理**を征服，南進の足がかりとする

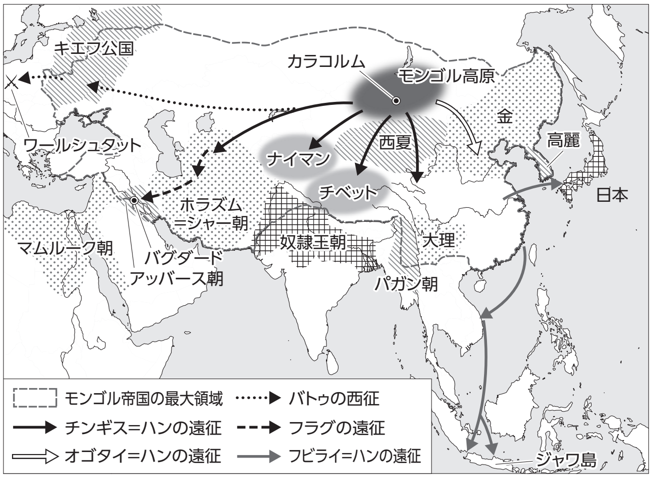
1258 年　西方に派遣された弟の〔　　　　　　〕が**バグダード**を陥落させて**アッバース朝**を滅ぼし，西アジアに〔　　　　　　　　　　　　〕を建てる

1259 年　フビライが朝鮮半島の**高麗**を降伏させ，属国とする

③フビライ＝ハンの時代

1260 年　**フビライ**が第 5 代大ハンに即位

1271 年　**フビライ**が国号を中国風の〔　　　〕とする



13 世紀のモンゴルの勢力拡大図

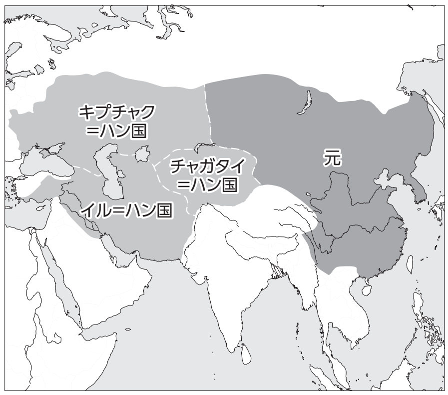
まとめ

チンギス＝ハンは，ナイマン，ホラズム＝シャー朝，西夏に遠征を行った。
南ロシア平原にはキプチャク＝ハン国，西アジアにはイル＝ハン国，中央アジアにはチャガタイ＝ハン国が建てられた。

Chapter２　元の成立と中国支配

目標
元の中国支配の特徴を理解しよう。
元代のユーラシアの交通ネットワークについて知ろう。

1　元の成立と遠征



元と諸ハン国の勢力図

①元の成立

1260年　〔　　　　　　　　　〕が第５代大ハンに即位

1266年　オゴタイの孫**ハイドゥ**が，フビライの即位に反対して反乱をおこす
※この反乱は1301年に鎮圧されるまで30年以上続いた。

1271年　**フビライ**が，国名を中国風の**元**とする
※〔　　　　　〕（現・北京）に都を置く。

1276年　臨安を陥落させ，**南宋**を滅ぼす

1279年　南宋の残存勢力を滅ぼして中国を統一
※元が，諸ハン国の上に立つ宗主国となる。

②元の遠征

1274年　日本へ遠征（文永の役）
※1281年にも遠征（弘安の役）するが，いずれも敗退。

1287年　ベトナムの大越（**陳朝**）に遠征するが，撃退される

1287年　ビルマの〔　　　　　　　　　〕に遠征し，滅ぼす

1292年　ジャワ島に遠征するが，敗退

③元の東アジア支配

A　モンゴル語を公用語とし，政治の中枢をモンゴル人が握る

B　中央アジア・西アジア出身の〔　　　　　　　〕を財務官僚として重用

C　**漢人**（旧金支配下の漢人や契丹人，女真人）や**南人**（旧南宋の住民）から税を徴収

2 ユーラシア = ネットワークの成立

①**ジャムチ**と呼ばれる〔　　　　　　　〕の整備

支配地域の主要街道沿いに**駅**を置き，官庁が発行するパスポート

牌符を所持する者に宿泊施設や馬などを提供した

→ジャムチを利用した陸路の交通や通信が活発になる

②陸路と海路の交易ネットワークの整備

A　海上交易が発展し，**杭州**，**泉州**，**明州**（**寧波**），**広州**などの港市が繁栄

B　大運河を大都まで延ばし，江南から山東半島を経て大都に至る**海運**を整備

C　海路，陸路の交易でムスリム商人が活躍

→イスラーム教がモンゴル人の間にも広まる

③貨幣経済の進展

A　銀を決済手段とし，銀錠（銀塊）を流通させる

B　銀と交換可能な紙幣〔　　　　　〕を発行，流通させる

3 元の衰退と滅亡

14 世紀になると，自然災害や疫病がユーラシア規模で流行し，モンゴル帝国は衰退した。元でも，飢饉や疫病に加えて，チベット仏教への過度の帰依や寄進により財政が逼迫。交鈔を乱発したこともあって経済は混乱した。

1351 年～ 66 年　宗教結社の白蓮教の信者が〔　　　　　　　　　〕をおこす

※この反乱をきっかけに各地で群雄が割拠。

1368 年　紅巾の乱の指導者の一人だった〔　　　　　　　〕が**明**を建てる

明軍が大都を占領し，元が滅びる

→元朝の残存勢力がモンゴル高原に退いて〔　　　　　〕を建てる

まとめ

元では色目人と呼ばれるイラン人などの西方の官僚が登用され，中国人は漢人や南人としてモンゴル人の支配を受けた。

内陸交通では駅伝制（ジャムチ）が整備され，大運河から海運へと繋がり，陸上と海上の交通が一体化した。

第 9 講　PART 4　確認問題

1 1206 年にモンゴル高原の諸部族を統一して，モンゴル帝国を建てた人物はだれか。

① フビライ　② チャガタイ
③ チンギス = ハン　④ オゴタイ

2 1227 年にチンギス = ハンの遠征軍に滅ぼされた国はどこか。

① 西夏　② 大越
③ 金　④ 大理

3 バトゥが 1241 年のワールシュタットの戦いで破ったのは，ポーランドとどこの国の連合軍か。

① フランス王国　② ハンガリー王国
③ ビザンツ帝国　④ 神聖ローマ帝国

4 1258 年にフラグが西アジアに建てた国を何というか。

① イル = ハン国　② カラキタイ
③ チャガタイ = ハン国　④ キプチャク = ハン国

5 国名を元として中国を統一したフビライが，元朝の都としたのはどこか。

① カラコルム　② 臨安
③ 成都　④ 大都

6 元の遠征を撃退した大越の王朝はどれか。

① アッバース朝　② 陳朝
③ 李朝　④ パガン朝

7 元が重用した中央アジア・西アジアの出身者は何と総称されたか。

① 南人　② 漢人
③ 色目人　④ 華人

8 元末期の 1351 年，宗教結社の白蓮教の信者がおこした乱を何というか。

① 黄巾の乱　② 紅巾の乱
③ 黄巣の乱　④ 安史の乱

第９講　PART４　確認問題 解答

1 解答：③　モンゴル民族のテムジンが**チンギス＝ハン**として即位し，モンゴル帝国を建てた。

2 解答：①　**西夏**は1038年にタングートの李元昊が建てた国で，1227年にチンギス＝ハンに滅ぼされるまで，中継貿易で栄えた。

3 解答：④　バトゥ率いる遠征軍は，ポーランドのリーグニッツ近郊で，ポーランド王国と**神聖ローマ帝国**の連合軍を破った。

4 解答：①　1227年，チャガタイが中央アジアにチャガタイ＝ハン国を，1243年，バトゥが南ロシア平原にキプチャク＝ハン国を，1258年，フラグが西アジアに**イル＝ハン国**を建てた。

5 解答：④　フビライは，モンゴル高原と華北の境界に位置する**大都**（現・北京）を元朝の都とした。

6 解答：②　**陳朝**は李朝に次ぐ大越（北部ベトナム）の王朝で，モンゴル軍と元軍から３度にわたり侵攻されたが，３度とも撃退した。

7 解答：③　**色目人**は，さまざまな種類の人という意味で，モンゴル人，漢人（旧金支配下の漢人や契丹人，女真人），南人（旧南宋の住民）以外の人々を指した。

8 解答：②　白蓮教の信者たちは紅い布を頭に巻いて目印としたので，**紅巾の乱**と呼ばれた。